

～先生のおすすめ本～ その3

高橋先生

『野村ノート』
野村 克也/作

プロ野球の監督時代のID野球に興味をもち、監督の著書を読むようになりました。長嶋監督や王監督を「ヒマワリ」と呼び、自らを「月見草」と名付けたノムさん。華やかさはないけれど、シンプルで味のある言葉に生き方を問われたり、励まされたり……。野球に関する記述が多いのですが、老若男女それぞれの生活の中で、指針となる言葉に出逢えることと思います。

つい最近お亡くなりになってしまい、大変残念です。
合掌

栗原 先生

『坂物語り(1)～(4)』
大倉 らいた/作

初恋の思い出の“坂”を主人公が探す物語。彼女が訪れる全国各地の坂で出会う様々な恋模様。他人のために一生懸命に行動できる主人公の気持ちが清々しく、良い話ですよ。

三浦 先生

『ハリー・ポッター(全巻)』
J・Kローリング/著

映画にもなった誰もが知っている本ですが、時間を忘れてしまうほど夢中になります。児童書とかのレベルではなく、SFにファンタジー、恋愛、ホラー、ミステリーなど全ての小説のジャンルがこの長編小説のひとつの物語に組み込まれています。そして、“伏線”の使い方には鳥肌が立ちます。人生に一度は味わってほしい本です。

森田 先生(事務室)

『京都の畏・素顔の古都を再発見』
茂山あきら・蒲田春樹/著

京都に行く前に読むと、京都の旅が楽しくなります。京都に行った後に読むと、また京都に行きたくなります。

京の本質に迫る、もうひとつのガイドブックです。修学旅行で京都に行った人、これから行く人、どなたでも読んでみてください。

中村 先生(事務室)

『99のなみだ』
リンダブックス編集部

「涙が心をいやす短編小説集」
シリーズは10冊以上あります。どの本からでも、どの一編からでも、心に響く短編に出会えると思います。やさしさにあふれる本です。